



学校だより

令和8年10月30日

東京都立小平特別支援学校

校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

秋も深まり、心地よい季節となりました。学校へ続く道にはキバナコスモスが咲き、いちよう並木には銀杏の実が色づいています。晴れた日には、中庭のブランコや滑り台から、子供たちの元気な声が聞こえてきます。

2学期も折り返しを過ぎました。子供たちは、毎日の授業や修学旅行、社会見学などを通して、さまざまなことを経験し、学びを深めています。引き続き一人一人の思いに寄り添いながら、子供たちの豊かな学びと成長を温かく支えてまいります。



● 「読書の秋」～ 本に親しもう！



3階の図書室や1階の図書コーナーには今、秋を感じる本がたくさん並んでいます。武蔵分教室の玄関ホールにも、素敵な図書コーナーができました。子供たちは、思い思いに好きな本を手にとったり、先生と一緒にページをめくったりしています。友達と誘い合って図書室へ向かう姿や、教室で大好きな電車の図鑑を夢中になって眺める姿も見られ、校内のあちこちで本を楽しむ様子が広がっています。毎週木曜日の昼休みには、保護者の皆様による読み聞かせ活動「ハピこだブック」が行われています。子供たちは「ハピこだブック」が大好き。学年や学習グループを超えて集まり、物語の世界に引き込まれながら、楽しそうに耳を傾けています。今はまさに「読書の秋」。たくさんの本との出会いを通して、子供たちの心がより豊かに育っていくことを願っています。



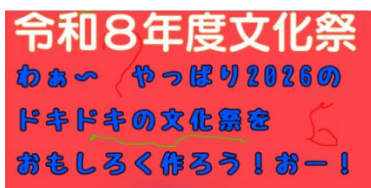
● 第2回 学校運営連絡協議会が行われました

10月9日(金)、第2回学校運営連絡協議会(学運協)を開催しました。学運協は、学識経験者をはじめ、地域の関係機関や障害者団体、保護者の代表など、さまざまな立場の委員の皆様から学校経営について御助言をいただく大切な会議です。今回は、中学部・高等部の代表生徒3名を迎え、「高校生活で学びたいこと、身に付けたいこと」をテーマに意見発表と懇談を行いました。生徒たちは、「大切なお金や時間について学びたい」「パソコンやAIの技術を身に付けたい」「陸上の全国大会を目指して部活動を頑張りたい」「数学検定に挑戦し、社会生活に必要な計算力を身に付けたい」

など、それぞれの目標や思いを自分の言葉でいきいきと伝えました。委員の皆様からは、「自立に向けて、さまざまな人とのコミュニケーションを大切に頑張ってください」と、温かな励ましの言葉をいただきました。生徒たちの前向きな思いを皆で受け止め、これからの成長を応援する、心温まるひとときとなりました。



● いよいよ文化祭のスタートです！



いよいよ文化祭シーズンが始まりました。先陣を切ったのは、10月27日に行われた病弱教育部門病院訪問部・多摩あおば病院の文化祭です。体験型のワークショップでは、生徒たちがゲームや楽器演奏などのブースのスタッフを務め、生徒の案内のもと、参加した病院職員の皆様に活動を楽しんでいただきました。続く10月28日・29日は武蔵分教室の文化祭でした。各病棟グループによる舞台発表や、病院とオンラインでつないだ学習発表など内容は盛りだくさん。子供たちは日頃の学習の成果を生き生きと発表し、会場は大いに盛り上がりしました。そして、11月5日・6日には、いよいよ本校(肢体不自由教育部門)の文化祭を開催します。アリーナや中学部・高等部の各エリアでは、舞台発表や模擬店など、楽しい催しが繰り広げられます。訪問学級や病弱教育部門の展示のほか、PTAによるお楽しみ模擬店、外部専門員によるICTコーナーもあります。子供たちが心を込めて準備してきた文化祭です。ぜひ家族の皆様でお越しいただき、子供たちの頑張りと笑顔と一緒に見守っていただければ幸いです。

校長 鈴木 愛

武蔵分教室(病弱教育部門)の紹介

小平特別支援学校武蔵分教室(病弱教育部門)は、センター病院内に入所・入院している児童・生徒を対象に指導を行っている「センター病院内分教室部」と多摩北部地域の各病院へ訪問指導を行っている「病院訪問部」が設置されています。

センター病院内分教室部は、西武拝島線・萩山駅から徒歩7分、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター内に教室や職員室があり、病院訪問部は小川駅の本校舎内に職員室があります。

センター病院内分教室部

長期在籍学級(病棟に入所している児童・生徒が対象)

短期在籍学級(治療等で一時的に入院している児童・生徒が対象)



今年度の長期在籍学級は小学部12名、高等部1名で、全部で13名の在籍となりました。短期在籍学級には小中高等部合わせて、今までに延べ14名の児童・生徒が在籍しました。

小学部の校外学習ではバスに乗って六都科学館へ出かけました。6病棟はあいにく大雨の中でしたが、車いす全体をビニールのシートで覆い、駐車場から科学館入り口まで雨の音を楽しみながら移動しました。プラネタリウムを見学して大満足でした。2南病棟は科学館3階にある多摩の自然や生き物の展示を見ました。移動のバスの中や見学の様子を副校長先生が病棟へオンライン中継し、出かけられなかった児童も一緒に楽しむことができました。

病院訪問部

5か所の病院(多摩あおば病院、村山医療センター、杏林大学病院、都立神経病院、榊原記念病院)で授業をしています。現在、小2から中3の児童・生徒が在籍しています。

今年のテーマは「さわりごこち」。講師の田中先生が触っている様子を画面越しに見ながら、子供たちも思い思いに紙粘土を ムニムニ! もももみ!!



オンライン
芸術体験教室

さわりごこちは
めにみえないものを
ひょうげんしているよ



文化祭

「どこまでも」(モアナと伝説の海より)をみんなで合奏しました。いろいろな楽器で、メロディー、コード、リズムなどを分担し、それぞれの音を合わせて一つの曲にして、発表しました。とても素敵な音が響きました♪

武蔵分教室の文化祭は、10月27日、28日、29日に実施しました。劇や合奏、ワークショップなどそれぞれの病院・病棟で練習をして発表しました。子供たちの作品は、1階渡り廊下にはしばらく展示されていますのでぜひご覧ください。

(武蔵分教室 主幹教諭 山本 久美)